喜多方市立塩川中学校

２０１９年度　経営・運営ビジョン

【本校の概要】

本校は福島県喜多方市の南部、塩川町に建つ生徒数２４１名、学級数９の規模をもつ中学校で、町内４つの小学校から生徒が入学する。北に飯豊連峰を仰ぎ、姥堂川、大塩川が回り込みながら日橋川に合流する肥沃な大地に、緑豊かな美しい田園地帯が広がる。江戸時代には阿賀川を利用した舟運と米沢街道の宿場として物流が栄えた地でもある。

生徒は明るく素直で、「さわやか塩中」をモットーとし行事や奉仕活動など、何事にも一生懸命に取り組む。また、部活動が盛んで、お互いに声を掛け合い、粘り強く頑張り、充実した学校生活を送っている。

教育目標

地域と連携し 地域に貢献する

さわやか塩中生の育成

学力の向上　社会性の伸長　向上心の育成

学校経営方針

1　学校の主役は生徒である
- ○　かけがえのない命
- ○　生徒の活躍の場を整える
- ○　信頼される教師、学校
  （心ひとつに 塩川中！）

2　みんなちがって みんないい
これが教育のスタートライン
- ○　違うものどうしだから
  - ・その違いを知る
  - ・その違いを認め合う
  - ・その違いを越えてつながる

3　自ら考え 行動できる生徒を育てる
- ○　失敗から多くを学ぶ
- ○　継続は底力
- ○　温かいまなざしで毅然と指導

基盤となる自己肯定感を育む

【自己啓発力の育成】

教育理念

「共に生きる力」の育成

喜多方市教育振興基本計画

基本理念　（2017年～10年間）

自分と郷土を誇り、自立と共生の精神を持って、たくましく生きる喜多方人の育成

基本目標Ⅰ

全ての子どもの「生きる力」を育む
- ○　自己啓発力の育成
- ○　学ぶ力の基となる基礎的な資質・能力の育成
- ○　勤労観、職業観及び職能の基本的資質・能力の育成
- ○　共助、協働の態度及びコミュニケーション能力の育成
- ○　教員の資質・能力の向上
- ○　安全で楽しく学ぶことができる学校環境の整備

保護者・地域の願い

- ○　思いやりの心
- ○　健康、基本的生活習慣
- ○　自ら学ぶ力、学ぶ楽しさ
- ○　責任、協調性
- ○　安心・安全な学校
- ○　地域を愛し、感謝する心

今年度の重点①　自信と意欲を高める

- ○　親和的な学級集団づくり
  - ・やる気のあるクラス、居心地のよいクラス作り（Q-Uの活用、構成的グループエンカウンタやSSTの実施、学級力の可視化）
- ○　考え、議論する道徳授業
  - ・様々な場面で、いのちの大切さを繰り返し取り上げ深める
  - ・思わず考えたくなる問いを精選し、しっかり話させ、書かせる授業
  - ・学年や学年を越え、チームとなってみんなで取り組む
- ○　学校全体で健康を増進する
  - ・いのちの指導を柱に、健康、安全、食に関する各指導を連動させ展開

今年度の重点②　学び合いの授業

- ○　授業スタンダードの活用
  - ・凡事徹底（まとめの確実な実施）
  - ・学習の仕方の指導（家庭学習スタンダード塩中版を用いて指導）
- ○　主体的・対話的で深い学びの実現
  - ・何ができるようになるか、何を学ぶかを明確にした単元デザイン
  - ・自力解決, ペアやグループ, 全体などの場で, 根拠や筋道を立てて説明させる
- ○　ＩＣＴと学校図書の積極利用
  - ・デジタルテレビ, タブレット等の活用
  - ・語彙を豊かにする読書活動の推進

今年度の重点③　生き方を考え 深める

- ○　新しい塩中ブランドの創出
  - ・生徒会を中心に、新しい価値と伝統をみんなで創り出す
  - ・何のためにそれをするのか？ 常に生徒に問いかけ、考えさせていく
- ○　地域に学ぶことを柱にした総合学習
  - ・塩川のよさを再発見
  - ・地域と連携した活動の推進
  - ・地域への発信と貢献、視野の拡大
- ○　共に学ぶ、信頼される教師
  - ・特別支援の理解を深め、実践する
  - ・生徒を 敬称をつけて呼ぶ
  - ・学び続ける、ユーモアのある教師

コミュニケーション(共感,協働)能力

【対人関係スキルの習得】

ツール活用能力

【問う力及び思考力の育成】

自立的に行動する能力

【自ら進路を切り拓く力の育成】

めざす生徒像・学校像

- ○　生命（いのち）を大切にし 健康を増進する生徒
- ○　常に目標を持ち 自ら考え ともに学ぶ生徒
- ○　地域に感謝し 自己肯定感の高い生徒

「 生徒と教師が ともに学ぶ さわやか塩中 」

学校に来るのが楽しくてしょうがない　そんな塩川中をめざしています！